

# 令和2年度大阪府債発行計画(案)における変動要素 $\alpha$ 及び $\beta$ について

- 減収補填債などの発行額が増加する可能性があることから、現時点で大阪府債全体で800億円程度の前倒し発行等が必要と考えられる。
- しかしながら、今後の新型コロナウイルス感染症の影響によっては、減収補填債及び通常債の発行見込額に変動が生じる可能性もある。
- そのため、前倒し発行する800億円のうち、銀行等引受債での発行を予定している300億円を除いた500億円程度（発行計画上 $\alpha$ 及び $\beta$ の合計）は、今後、新制度を活用した共同発行債の持ち寄り額が確定次第、フレックス枠と共同発行債で調整しながら発行することとする。

## 【変動要素 $\alpha$ 及び $\beta$ について】

